제290호　1909. 12. 17.




# 京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年　紀元二千五百六十九年
本紙定價（▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢）
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金（▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢）
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社


## 甘茶澁茶

▲消極的貯蓄の弊

十二月上旬の我海外貿易は相變らず輸出超過にして其の額三百二十八萬九千餘圓を算し、一月以降の累計は實に一千一百四十三萬九千餘圓の多きに上り又た同旬の金銀は二百三十万圓の出入超過を示せり、此の分にて押し移らば本年は實に未曾有の輸出超過を見るなる可し。然れども是れ果して喜ぶべき現象なるや否やは未だ容易に判斷し易からず。何となれば輸出の超過は穴勝生產力の增進を意味するものに非ざるを以てなり。余輩の見を以てすれば或は國民の萎微して振はず、戊辰の詔勅を讀み違ひ、唯無暗に食ふ物も食はずに貯蓄する事の其れが詔勅の訓ゐ給ふ所なりと誤解したる結果にあらざるなきかを疑ふ。不景氣の素因悉く除かれて既に久しきに尙ほ其惰力の熄まざるが如き觀を呈するは爲政者も亦た許る所なれども爲政者が年々郵便貯金の類の增加し來りて今は優に一億數千萬圓の多きに上りたりと云ふを以て自ら誇りとなし、國民の貯蓄心の昂上したりと喜ぶが如きは余輩の大に訝る所なり。

▲漢學男を男にす

一時殆ど廢絕せんとしたりし漢學の此頃遽に復興し來り、漢籍の賣れ行き漸く盛なるに至れりと云ふ。一盛一衰元より數の免かれざる所なりと雖ども未だ全く衰頽せざるに先だち如斯速に復興し來りたるは余輩の欣喜措く能はざる所なり。然れども余輩が其の復興を喜ぶ所以は所謂腐儒等と其の心を同じうせず、漢學其者の復興を尊ぶに非ずして實に人心の漸く堅實に向はんとするを喜ぶものなり。輕佻浮薄稍々俗を爲し男子も亦た將に女性化せんとする今時に在ては簡朴豪壯の語調に富み堂々として大義名分を說けるもの〻多き漢籍の流行し來らんことは優美の古代の和文の流行し來らんよりも必要事なりとす。漢學の流行庶幾くは以て現時青年の浮華懦弱の氣風を一掃し得べけんか。

▲變改何んぞ頻繁

復又た學制の改革を見んとす、奇異の念ひに堪へず。我邦日進月歩日に日に新にして日に又た新なる新興國の舊制の惡きを矯めて新制の宜きに附くべきもの決して少しと爲さずと雖ども然れども朝令暮改學制の改革の如く頻繁なるは決して賀すべしと爲さず。若し改むべくは之を改むる元より其の所なりと雖ども苟も改むべくんば遠慮深謀何ぞ長期の良策を樹てざる。先きには屢々漢文國語の課授程度の變更及び假名遣ひの末更ありて小中學の教授をして教授の方針に迷はしめし事あり。余輩は我文部省の今日暮らしに驚かざるを得ず。敢て世の教育家の一考を煩はさんと欲す。

雜報

## 韓國牛の前途（一）

三十七八年戰役に會し一時生牛及同皮等の需要劇甚に伴ひ價格の昂騰一方ならず從ふて韓牛の輸出盛況を極めたりしが昨夏來牛疫の流行により韓牛の日本輸出は一時大打擊を蒙り價格及頭數に於て著しく減退し昨今釜山東萊附近の市場は三四歲の物にて三十五圓の間を往來するに至りしが是れ一時の現象にして韓牛の前途は洋々として韓國に於ける唯一無二の特產品たるを失はず

▲天地人の三和　韓國に於ける諸種の畜產中第一に牛を推すは一般共に認むる處なるが萬事荒廢の中にありて一に牛のみ優良なるは畢竟するに天候風土が牛の生育上極て善良なるが爲にして殊に土質の適良なるは殆ど韓國獨特の長とも云ふべし氣候風土の他尙は畜牛上都合よきは一般韓民の牛に對する觀念の濃厚なる事にして亦た之に對する智識の發達せるにあり是天地人の三和を得たる畜牛の前途は云ふ迄もなく有望にして相當人工を施し之を助長せしむるに於ては畜牛の利は實に無限なるべし

▲韓牛の特長　韓國の飼牛法は主に放任なれば其間山野を涉り運動自在にして健脚に爪の堅牢なると蕃殖力の盛なると牝牛の必ず胳胎する事等なるが放飼の結果交尾自由にして早成の弊あり併し是等に對し相當保護を加ふれば充分防遏し得べし尙ほ其他價の廉なる性質の順柔なる健全なる且つ肉の肥滿早き事等なるが就中溫順の性は實に韓牛の特長にして世界無比の稱あり（未完）

地方通信

▲平壤通信

▲支店披露會　韓國銀行平壤支店にては去る十二日夜斎藤樓の大廣間に於て日韓の重なる官民數十名を招待し盛なる披露宴を催したるが中村支店長は簡單に一場の挨拶を述べ次に京城本店より來壤せし市原總裁の演說あり來賓側の李觀察使は韓人側を代表して又若槻理事官は日本人側を代表して答謝辭を述べ夫れより開宴となり散會したるは十一時頃なりき

▲警察署落成　平壤警察署開廳式は去十三日午後一時より開催されたるが餘興としては劍擊場に於て署員憲兵隊員の擊劍ありて日韓官民の各來賓及び警察署員參列して君が代の奏樂あり斯くて新任署長國友警視の式辭松井警務局長代理中村警務課長、李觀察使、湯淺警察部長の各祝詞等あり中野警務課長は『警察の本領』と題して一場の演說を爲し終りに湯淺部長は韓人來賓に各貧民に配布ありたしとて警察醫施藥券を與ゐ種々の餘興ありて近來の盛況を極め散會せしは午後五時なりき

▲各署長會議　去る十三日より三日間平安南道警察部に於て管內警察署たる德川、成川、鎭南浦、安州、平壤の各署長會議を開催せり

▲白米の相場　十二月一日より十日迄に至る平壤市場に於ける白米相場を聞くに一日十圓、二日三日四日同上、五日九圓七十錢、六日七日同上、八日九圓五十錢、九日十日同上にて昨今結氷期に迫り居るを以て取引少なしと云ふ（平壤通信員）

和歌募集

勅題「新年雪」

選者　九皐館去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月二十日、發表は四十三年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮て投詠せられんことを希ふ

十一月廿日

本社編輯局

短篇小說

## 雪の夜（下）

ゆり子

風は雪を載せて愈寒く、雪は行人を絕ちて深し、

〇〇樓に母を訪ひ、火も無き裏の燗部屋に空しく時を數へ倦み、會ひは會ひても打擲の、笞の下に云ふことは、耳にも入れで逐ひ出されし、茲に七つの初江子は、頰傳ふ淚冴てがてに、傘もなければ降る雪は、頭と云はず、肩と云はず、積むに委せてトボ〻と、辿る足許覺束な、片足は低く片足の、高きはソレよ京城の、道に似たりや禿足駄、轉ばんとして幾度か、轉びて起き病む父のなからんには、假令凍へて死ねばとて、尺取虫の尺は扨て置き、も〻の〻一寸伸ぶるも縮くも、ならぬ時計の時の數、胸に數へて焦つ程、進まぬ足の捗取りや。

氷る手先に吹き掛けし、息も氷りて溫みなく、股に氷れる足頭を溫む程の暖もりも、あらぬよ雪の石佛、

『父さんも、モウ死んでやろ、妾もモウ死ぬんやろ』

淚の泉涸れたりけむ、顏に血の氣の色も失せぬ、疫神やしけん徒に、他が門衞る燈火を、仰いで雪を浴びて立つ、右の頰より顋にかけて、紫にじむ笞の跟

『死ぬんや、死ぬんや、死ぬのんや。』

行くともなしにフラリと一步、

『死ぬのが宜ゐなア……』

恍惚として夢見る如、雪に映ゐたる軒燈は、煌々として何をか照す、

『父やんと一緒が宜ゐ……妾一人おや淋しいもん』

思案に投げし領元に、ツルリと辷りし頭の雪、拂ひ退けむの感覺もなしや、ニヤリと一人微笑みの淋しかりけり雪女郎。

『父やんも一人ちや淋しい、妾も一人ぢや淋しいけに、爺も母やんも一緒なら猶ほ宜ゐけんぞ。』

物の怪や憑きたる、スル〻〻〻と二三間を辷るが如く、

『けんど母やんの身體は、父やんにも母やんにも自由にならぬ云ふておやつた、先刻も彼家で母やんが

顧る方の眼の先きに傘をかたげし人の影。

『父やん。』

咽喉や裂けたる裂帛の、聲諸共に腰の邊り、矢庭に縋るに危くも傾けんとしたるを僅かに堪ゐ、傾髮攫んで男の力二間が程を投げ飛ばし、下駄脫ぎ棄てゝ一目散、

スツクと起きて四周を見回し、

『父やんは家に臥てゝのやつた、』

足駄は何れに失ひけん、素足のまゝをサク〻〻と、南大門を左りに切れ、鐵道線路を西大門に、步むこと一町ならずして、行方に何にをか認めたる

『父やアん……待つてー』

唯見る蹴立つる雪は降る雪に和して、一塊暗々たり、地を距る三尺ならずして一團の怪光靑く尾を曳き北を指して飛ぶこと疾し矢の如く、

『父やアん……待つてー』

夜深うして降る雪に珊々の聲あり、浪江子が父を呼ばふ聲急にして、其の音愈々幽なり、怪光の跡追ふ夫れが姿や目も及ばず。

●　●　●　●　●　●

烏啼く夕や枯野を人の列

昨日の雪の今朝霽れし、其の夕なり水口門を、潛りて出でし大小二つの、差し擔ひたる棺のあり、大なる方は西大門外なる韓人家屋に病みて死したる名も知れぬ日本人の男子にして、小なる方は昨夜の雪に西小門と西大門の間に當る城壁下に凍死せる七歲計りの女の子よ、何處の誰れとも知る由緒なきに斯くは民役所の手に依りて埋葬場に運ばるゝなり、さるにても此の兩人、過去に如何なる因ありて、現世にかゝる果を受けしか、天意悠遠計り知るべからずと語りしは若き吏員なり、

彼の雪の夜の事ありし已來、○○樓の浪江の許に初江子は姿を顯はさずなりて浪江の容姿艶を增しぬ。と傳へらる

京城新報

## 大豆の輸出

（產業發展の曙光）

三井物產會社が一たび滿洲大豆の市場を歐洲に開拓してより南滿鐵道は大豆の運輸に忙はしく大豆積載の船舶は大連港に輻輳し滿洲の貿易は頗る振興し來り我南滿政策は稍々曙光を認めらるゝに至りしが英獨蘭濟の商賈は三井の成功を傍觀するに忍びず本年に入りて盛に大豆の買込みを爲し互に相競爭するに至れり。随て大豆の價額は日に昂騰し來りたるを以て同じく大豆の生產を有する韓半島にありては今後歐洲に於ける大豆の相場と叙上商人の競爭には大に注目せざるべからず。

余輩は曾て再三半島の大豆に就ては滿洲大豆と同じく歐洲市場に販路を求めざるべからざるを說きしが、頃者聞く所に據れば佛商ロンドン商會と淸商某とは韓人をして盛に韓大豆の買込みを爲さしめ歐洲市場に一大輸出を試みんとすと云ふ。由是觀之滿洲に於ける大豆買込みの競爭は既に韓半島にも波及し來り半島大豆の販路を開拓するの機運に向ひたりと謂ふべし。今朝鮮大豆と滿洲大豆との品質の優劣は暫く措くとするも、内地交通機關の不備よりして朝鮮大豆が運賃を嵩み來りて歐洲の市場に今は一時不利益の地位に立つものとするも、滿洲大豆が今日の如く盛に買收競爭を續くるに於ては滿洲大豆の價格の早晩昂まり來るべきは豫言するに難からず。而も多少の研究を積まば朝鮮大豆も幾くかの運賃を減少するを得るは余輩の確に認むる所なり、隨て滿洲大豆を歐洲の市場に壓倒する能はざるまでも之と併行することは穴勝出來べからざる事にもあらじ。

抑々半島の產物は大豆と云はず米穀と云はず手近く日本に輸出するをこそ正當の順序なるべけれど日本の市場は餘りに狹小なるが上に關稅の關係等よりして到底滿足の結果を得ること能はず其れ故に之を他の販路に求めて盛に半島の生產物を輸出するの途を開かざるべからず是れ余輩が歐洲の市場に着目する所以なり、生產輸出を盛ならしむるは即ち半島の農業をして益々盛大ならしめ農業者をして殷富ならしむる所以にして曾禰統監の所謂產業政策なるものを遂行するの一の方法たらずとせず、庶幾くは韓民の租稅滯納も之に由て減少することを得んか。今叙上の如く歐洲に盛に朝鮮大豆の輸出せらるゝ事ともならば日本と歐洲との爲換の決濟は幾分か之に由て補はれ韓人の利益を納むると同時に日本も亦た幾分の利益を獲得すべきなり。何となれば半島の產物が歐洲に輸出せらるゝとするも輸出の貨物が直に歐洲の貨物と化して輸入し來ることなく半島の貨物は轉じて日本の貨物となりて輸入し來ればなり。是れ半島の生產過剩物を以て日本の過剩生產物を買ひ韓人の需要を滿にするの結果生ず。與に是れ一擧兩得の策たり。唯惜しむらくは朝鮮大豆輸出の計畫が佛淸人の手によりて爲されて我邦人の與り試みざることを、余輩は邦人の奮起一番彼等と對抗して競爭貿易を試みんことを望んで止まず。

東京電報

▲韓鐵合併の發表　統監府鐵道廳を廢し其事務を鐵道院に合併する件は愈明十六日を以て發表する事に決定したり（十五日夜着）

▲葬儀と御使差遣　本日京都賀陽宮殿下葬儀に天皇陛下、皇后陛下、皇太子殿下より御使差遣相成たり（同上）

▲政友會院內總務　原松田の兩氏陣頭に立つを好まざる結果院内總務には元田鳩山の兩氏、豫算委員長には大岡氏撰定さるべし

▲貴族院の委員長　貴族院の各派交渉會にて二條、德川兩氏の内何れか全院委員長に曾我子を豫算委員長に推定すべしと（同上）

▲倉知局長の報告　本日開かれたる閣議には倉知政務局長も出席し滿洲視察の結果に就き種々報告する所ありたり（同上）

▲渡米團史の編纂　渡米團員は各自醵金し一行の歷史を編纂することに決したる旨本日無線電信ありたり（同上）

▲山下市長の辭職　山下大坂市長は辭職し同時に杉山電氣課長は免職されたるが右は市政の紊亂に對し市民激昂の結果なり（同上）

▲軍事費の大節減　海軍省所管中軍事費に削減を加へ殊に來年度の艦艇行動を制限し且つ艦營費に巨額の節約を爲したりと（同上）

▲鹽田整理案と議會　鹽田整理案は大藏省より法制局に廻送し此程同局の審查終了したるを以て愈本期議會に提出さるべし（同上）

▲韓鐵合併發布後報　韓鐵合併に關する勅令本日發布せらる全文左の如し（同上）

明治四十一年勅令第二百九十六號鐵道院官制中左の通り改正す

第一條中「内閣總理大臣に隸し」の下に「帝國内に於ける」を加へ「軌道」の下に「並帝國に於て經營する鐵道」を加ふ

第二條中「秘書」の次に「副參事」を加へ「主事及主事補」を削り「技師」の次に「通譯」を加ふ

第五條中「總務部」を「監理部」と改む

第六條中「五箇所」を「六箇所」に改む

第十一條中「部」の下に「又は局」を加ふ

附　則

本令は公布の日より之を施行す

明治四十二年勅令第百六十號統監府鐵道廳官制は之を廢止す

鐵道院職員及統監府鐵道廳職員にして本令施行の際現に其職に在る者別に辭令書を交付せざるときは鐵道院主事同主事補統監府鐵道廳事務官及事務官補は鐵道院副參事に統監府鐵道廳技師は鐵道院技師に統監府鐵道廳通譯官は鐵道院通譯官に統監府鐵道廳書記は鐵道院書記に同官等同俸給を以て任ぜらるゝものとす

▲鐵道院の職員令　四十一年勅令第三百九十七號鐵道院職員定員中改正されたり即ち技監一人を二人に參事五十六人を六十三人に主事六十一人主事補三人を削り副參事百十九人を加ふ（同上）

▲韓太子の歸韓期　東京御留學中の韓太子は輔育總裁事務取扱岩倉宮内大臣と同道來春二月下旬御歸韓の事に内定せり（同上）

▲參與官の任用令　統監府參與官特別任用令本日勅令を以て發布されたり（同上）

▲伊公遺族の寄附　伊藤公爵家にては香典其他の答禮を廢し慈善事業、學校、病院に寄附する事に決定（同上）

▲大阪府知事上京　高崎大阪府知事は大坂市役所問題に就て事情を具申し今後の善後策に就き主務省と打合の爲め本日上京せり（同上）

▲桂首相の晩餐會　桂首相は今十六日午後六時霞ケ關官邸に露國大使マレウイッチ氏を主賓として本野大使外數氏を招待し晩餐會を開く

歐州電報

▲極東事情の諸問案　露國國會の西比利亞議員等は日露戰爭中に於ける極東の事情に關する諸問案を本議會に提出せん事を要求せるに對し同議長は之を應諾せり（十六日着）

雜　報

### 關稅同盟は不能

日韓關稅同盟論は韓國に於ける日本實業家及び内地商人の一部に於て唱道せられつゝあるが右に關する大藏省側の意向を聞くに、韓國の關稅收入一箇年三百萬圓の中、二百萬圓は我國よりの輸入に係るを以て、關稅同盟の成立は韓國の財政に約二百萬圓の歲入缺陷を生ずるの恐れあるのみならず我國に於て消費稅の賦課せられ居る各種の產業は關盟成立後該稅の負擔を課せられざる韓國に於て經營せられ、直に其商品を内地に輸入するを以て内地の商業に打擊を與ふるの結果となるべく、さればとて内地產業保護の目的にて同率の輸入品に對し韓國にて同率の消費稅を課せんか、之が爲め苛重の負擔を韓民に課することとなるべし、又歐米各國第三國の貿易品は我國の關稅を免れん爲め、先ず韓國に輸入せられ然る後、我國に轉輸入せらるゝの虞れあり、されど此等の說稅を取締らんとせば、勢ひ韓國よりの輸入品に對し特種の機關を設け、韓國の生產品と輸入品とを區別するの必要を生じ、取扱上煩雜に堪へずと云ふに在り當局者の意向斯の如くなれば關稅同盟は到底物にならざるべし

### 軍用地區の發展難

京城居留民團が居留地發展の大勢に應ずる爲め四十一年四月中龍山軍用地一萬二千七百七十二坪、賃借契約を締結し茲に市街區の設定を企てたるが爾來一般經濟界の不振に遭遇し何等其緒を進むる能はず現在にては殆んど之が維持に苦みつゝある狀況に在り元來該計劃の頓挫に就ては如上市況の萎微其因を爲せるに相違なかりしと雖も主なる原因は陸軍の該地使用制限餘りに嚴重なるに依るが如し例令ば家屋は石造煉瓦若くは堅牢なる木造たるを要し其他家根、道路に面する家屋の距離制限、暖房庖厨畑道塵溜周井戶側等に關する構造材料の制限寧ろ苛酷に失するの觀あり之が爲めに折角三箇年間無料貸付の特點も希望者を空しからしむる如ければ此際該制限を撤去して民度に適應せしむる事該地繁榮上急務なりと云ふ

### 貨幣試驗の成績

貨幣試驗の爲め大阪に出張したる吉松度支部書記官は十六日夜歸任したるが同氏の齎らしたる試驗の模樣を聞くに當日は桂藏相及高度相其他の吏員立合の上桂藏相は展列供試貨幣中より諸種の貨幣を選出し各種每に集合秤量せしめたるに孰れも良好の結果を得たる由にて其成績左の如し

韓國貨幣品位試驗の結果

| 種類 | 番號 | 製造の年月日 | 品位千分中 | 貨幣條例品位千分中 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 廿圜金 | 第一 | 四二、一、六 | 九〇〇、〇 | 九〇〇、〇 |
| 同 | 第二 | 同上 | 九〇〇、〇 | 九〇〇、〇 |
| 同 | 第三 | 同上 | 九〇〇、〇 | 九〇〇、〇 |
| 半圜銀 | （鎔解中坩堝より汲取たる試驗片） | | 八〇〇、〇 | 八〇〇、〇 |
| 廿錢銀 | （同 | 上） | 七九九、九 | 八〇〇、〇 |
| 十錢銀 | （同 | 上） | 七一九、七 | 七二〇、〇 |

### 安奉線の難工事

安奉線改築工事中全線中の難工事として知られたる總延長七十四鎖の福金嶺大隧道は開鑿請負者鹿島組に於て九月初旬以來晝夜間斷なく作業せしが近時工程大に進み西口は十一月三日東口は同月十七日何れも坑口に達し本月十一迄に隧道工程總坑道百三十四尺東坑に七十八尺に及びたれば多分中旬迄にはき便宜岩石に逢着せざる限りは豫定の進捗を見るべし請負者は明年天長節迄には是非共開通式を擧行すべしと意氣込み居れりと云ふ

### 衛生豫算と民團

漢城衛生會隆熙四年度豫算中京城及龍山居留民負擔額は二万七千三百六十五圓七十六錢日本官衙負擔額は五千〇八十六圓八十錢なるが右計算の基礎は一ケ月八錢宛の割合なれば現在の人口に照らし京龍兩地の負擔額を定むべく而して該豫算は曆年度なれば民團の會計年度更始と共に契約を締結する都合なりと云ふ

### 參與官特別任用令

十六日勅令を以て統監府參與官特別任用令を發布されたり其の要領は現に統監府書記官にして外交官又は領事の資格ある者は統監府參與官に任用する事を得と云ふにありと

### 小松氏と參與官

現行統監府參與官任用令に依れば小松書記官、國分秘書官は參與官たるの資格なかりしを以て方々別記の參與官特別任用令の發布を見るに至りしが其の結果小松書記官は遠からず參與官に陞任さるべしと

### 管理局長と權限

統監府鐵道廳長官大屋權平氏は今回鐵道合併の結果鐵道院技監となり鐵道院韓國管理局長に任命されたるが同局長の權限は他の五管理局長よりも廣き權限を與へ建設に關する事務をも掌理するを得る規定なりと

●舊白銅貨引上情況　同引上準備として度支部に於ては各方面に吏員を派し地方金融組合と協力し極力引上に盡瘁さるべき事は既報の如くなるが今當局者の語る處によれば今日迄の情報には同貨の殘存は意外に鮮き樣なり固より山間僻陬交通不便の地方にありては未だ充分手の屆き居る譯にもあらざれば今の處正確なる返附は不能なるも要するに地方韓民の現狀の富に照して見る時は豫想外に殘貨の鮮きは反りて事實に近からん云々

●國有地調查の進捗　本年七月より着手したる國有地調查は其後着々進捗し既に半ば以上を終りし由なるが目下は各道に六十二班の吏員を派遣し一班に二名宛にて調查を續行し居れり度支部の見込にては面積十三萬九千町步筆數七十萬三千筆なれども調查の結果は非常に增加せる模樣なり遲くも明年五六月頃迄には全部終了の豫定

●國出資の驛屯土　韓政府の東拓會社出資株四分の一拂込に對する驛屯土は同社創期の收獲に對し一年來續々調查を重ねたる撰拔き土地のみなれば素より他の農園の比に非ずと云へり而して該土地の所在地は左の如し

▲京城附近　纛島　▲慶尙南道　昌原　東萊　▲黃海道　載寧、黃州　▲平安南道　平壤

●地方行政の調查會　地方行政調查會委員長石塚英藏氏委員木内、荒井、俵、松井の諸氏中山、三浦、荻田の三幹事は昨十六日午前十一時より統監府總務長官室に參集し調查委員會（第二回）を開きたりと

●稅制調查會の新設　京城民團にては近々稅制調查會規則を設け委員長一名委員七名を以て組織し之が豫算は四十三年度豫算に計上して來年四月より開始するの計畫なりと

●衛生會の豫算會議　漢城衛生會にては既報の如く來年度豫算會議を内部に開催せり其結果原案中韓人家屋間數計算に關する點に少許修正を加へたるのみにて孰れも可決せり

●各學校長の協議會　十六日民團樓上に於て高等女學校第一第二小學校の各校長は民長の諮問に基く學生增加に伴ふ校舍增築の件及教育制度に關する各自の希望を述べたりと

●韓鐵と統監の權限　韓國鐵道合併の結果同鐵道に關する統監及び軍司令官の權限は單行勅令を以て十六日の我官報に發布されたりと

●豫算と參與官會議　韓國政府明年度の豫算は度支部にて既に查定を終了したるを以て愈々十七日の參與官會議に提出する筈なりと云ふ

●大久保大將の參內　大久保駐韓軍司令官は昨十六日午前十時四十分昌德宮に參内して韓皇に謁見の上同十一時五分退闕したりと云ふ

●統監府の政府委員　今期議會に於ける統監府より政府委員は石塚英藏、倉富勇三郎の兩參與官兒玉書記官の三氏に確定したりと云ふ

●英領事館員の訪府　英國領事館員ホワート氏は十六日統監府に小松外務部長事務取扱を訪問せり

●少佐着任と赴任　龍山兵器支廠附なりし菊地輜重兵少佐は姬路輜重兵大隊に轉じ後任中野同少佐は十五日小倉大隊より來任せしにつき菊地少佐は近日中に任地に向け出發する筈なりと

●國庫剩餘金支出　罹災救助費として二千六百圓國庫剩餘金より支出の件昨十六日の官報を以て公布せられたり

●龍山名刺交換會　龍山にては來る一月一日午前十一時榮町小學校に於て官民相合同して名刺交換會を行ふ由なり

### 李人植の日本行

李完用内閣の命を受け一進會攻擊の急先鋒者たる李人植は十六日午前名を孔子教擴張に藉り渡日したるが十五日李人植は李總理、趙農相を訪問して密談する處ありたりと

●京城の名刺交換會　京城に於ける明治四十三年の官民有志名刺交換會は目下發起人間に於て相談中なるが既に發起人として贊助の旨發表せられたるは倉富司法廳長官、宇佐川東拓總裁、荒井次官、若林警視總監、足達軍副官、佐藤六師團參謀長、鐵道廳鶴尾技師、峯岸京城新報社長、戶叶大韓社長、市原銀總裁、岡崎瓦斯取締、淺野三井支店長、原百三十支店長、高橋日本興業支店長、山口起業會社長、菅谷內國通運、原轉農社長、古城居留民團長等にして此の外統監府各府部次官各新聞社長各銀行會社の代表者三浦理事官等に於ても無論同意の筈なれば無慮千餘名の多數に上る見込なるが新年一月一日の勝頭に於て官民相互の交情を溫め來るべき一個年の祝福を祈るは極めて有益の事なれば各自奮つて加入せられたきものなり序に名簿調製費及會費として一人五十錢宛なれば京城居留民團役所内に申込べしと會場は京城ホテルにて時間は正午の由

●謝罪團渡日の魂膽　所謂謝罪渡日委員左記十二名は愈々十六日午前出發渡日すべしと傳へられつゝありたるが又々十八日に變更さるゝこととなり留守中事務員として梁貞煥外十名を擧げたり而して彼等は日本天皇陛下に上るべき上奏文は當地に於て起草する時は警視廳より差し止めらるべしとの口實の下に未だ何等纏りたる謝罪方法を有せず漫然渡日すべしとの事なるが同團成立動機と云ひ其の從來の經過並びに其の顏振より照らすも例の延期々々にて渡日するに至らざるべしと某消息通は語れり

黃應斗（慶北）金壽煥（平北）崔海圭（慶南）方庸柱（平南）鄭寅昌（全北）張暎相（全南）劉鼎煥（平南）金明鉉（全南）崔在康（咸北）宋鶴昇（平北）許日和（平北）鄭延朝（黃海）

●各地技手の歸任　入京中なりし慶州地方金融組合技手橘源藏、海州同關宇一郎、咸興同春木七郎氏等は一昨十四日出發各任地へ向つて出發したり

●横山前助役移任　前仁川民團助役横山謙氏は今十七日午前十二時十二分柾幌驛發列車にて京城へ移任する筈

●秋本理事官歸任　鎭南浦理事官秋本豐之進氏は十四日出發して歸任せり

●林鐵業所長歸任　平壤鑛業所長林文太郎氏は一昨十四日出發歸任せり

●齋藤技手の歸任　光州種苗場技手齋藤積太郎氏は十四日出發歸任したり

●牧野兩氏の出發　慶尙北道成昌慶商工部技手の同氏は十四日出發大邱へ

●林唯亮氏の退京　太田農工銀行技手の同氏は十四日出發太田へ歸任せり

●千葉場長の出發　成鏡種苗場長技手千葉喜千彌氏十四日出發釜山へ向ふ

●安武辯護士退京　入京中なりし辯護士安武千代吉氏は十四日釜山へ向ふ

●花井技師の歸任　平壤勸業模範場長技師花井藤一郎氏は十四日出發歸任

●吉松書記官歸任　度支部書記官吉松齒郎氏は過般歸朝中の處十五日歸任

### 東拓訴訟事件判決

峯岸繁太郎氏對東洋拓殖會社控訴判決の全文左の如し

判　決

△控訴人京城西署西小門通一番戶峯岸繁太郎△右訴訟代理人岩本英夫△同上辯護士岩田仙宗、皆川廣濟、木尾虎之助、高橋章之助、本多潤△被控訴人京城明治町三丁目東洋拓殖株式會社△右訴訟代理人總裁宇佐川一正△右訴訟代理人辯護士岡田榮

右當事者間の明治四十二年民控第九三號總會決議無效宣告請求控訴事件に付當院は審理判決すること左の如し

主　文

本件訴訟は之を棄却す

訴訟は之を却下す

訴訟費用は控訴人の負擔とす

事　實

控訴人は一定の申立として前判決を取消し更に被控訴人が明治四十二年五月二十二日東京市麴町區有樂町東京商業會議所に於て開きたる第一回株主定時總會に於ける左記事項承認の決議は無效とす第一事業報告承認の件第二財產目錄承認の件第三貸借對照表の承認の件第四損益計算等承認の件第五利益分配案承認の件訴訟費用は被控訴人の負擔とすとの判決を求めたり其申述の要旨は

第一右總會の召集手續は商法第百五十六條第二項に違背す其理由は總會の通知には右法條の規定に總會の目的及總會に於て決議すべき事項を記載せざるべからず故に事業報告には如何なる經營をなし如何に進行せしか財產目錄には其種類現狀等貸借對照表には其種目現狀等損益計算には收入支出の項目及現狀等利益分配案には其項目及分配率等其内容の概要を豫知せしめ決議權行使の準備をなさしめざるべからざるは夙に大審院判決例の認むる所なり然るに右總會の通知は甲第一號證の如く之に違背し簡單なる題目を表示したるに止まる此違法の召集に基く甲第二號證の總會の決議は無効なり（未完）

▲無線電信又々失敗 （東京電報）昨夜 …時に晴れり

▲本國と渡米實業團 渡米實業團と東京間の無線電信は頻繁に交換せられ一行は故國の近情を悉…

●天氣豫報（自十六日午後六時至十七日午後六時） 西北風晴 最低溫度 七、〇



一昨夜半 壽町の出火

▲原因は朝鮮火鉢の火 ▲全燒三戸と半燒二戸

昨十六日午前零時三十分頃原籍大分縣大分郡大分町大字三芳番地不詳平民當時京城壽町一丁目八十六番戸居住酒醤油商楢崎周藏方より發火し同一時四十分鎮火したるが原因は

▲朝鮮火鉢の火 火元の楢崎周藏は本年三月當地に來り前記の場所に酒醤油商を開店せし者なるが元來同人は獨身者にして下女下男の雇人をも置かず單獨にて營業せるを同人の知己にして同郷人なる芳井喜源馬(二八)及び米屋豊治(三七)の兩人が手傳ひ旁同居せしが一昨十五日午後十一時頃より自宅二疊の部屋に於て三人鼎座して牛肉一斤酒一升とを需め朝鮮火鉢に五德を掛けて飲み初め隣家の牛肉小賣商主人某及び楢崎の友人なる大和商會員吉內甚內といふ男も來り都合五人車座となりて飲み運け居たるが十二時過ぎ客は皆歸宅し主人の

楢崎は入浴に出で行きたれば芳井、米屋の兩人は座敷を片付けて就寢したるが楢崎が入浴より歸宅して床に就きたる後不圖目を醒し見れば隣

三疊の部屋に火の起る樣な音の聞ね且つ障子がパットさ明るくなり居たれば若しや火事にやと床を蹴て起き出で隣室に驅込み見れば火は疊より高さ約三尺位ひ幅凡そ三四寸廣がりて盛んに燃ね昇りつゝあれば大に驚き直ちに若井、米屋の兩人に急を

告げて三人協力して布團を以て火の上より殺び掛け揉消さんとしたるも此時既に晩く火の手は一時に四方の壁に燃ね移り遂に三人家外に逃出し大聲を以て火事々々と連呼して附近の救助を求めたるが原因は朝鮮火鉢の火が多量ありて遂に疊にまで通して先づ疊が燒けて火事となりたるなりと

▲消防隊の活動 時ならぬ警鐘の亂打せるを聞き付け逸早く驅け付けたるは居留民團第一、第二消防隊にして警務監督直警部、南部署長、下村警部、野口警部、銅峴分署長警部其他各署員も直ちに現場に出張して消火に指揮盡力したる結果同一時四十分に至り全く鎮火したり當夜民團消防隊の外宮內省、銅峴分署等の消防隊も應援消火に務めたるが小頭以下總員五十九名出場したり

▲類燒と損害高 全燒せしは火元の楢崎方及び東隣豆腐屋深堀休右衛門魚商馬場貞吉の三戸にて半燒は松本消者深田直藏の二戸なりしが家主は全部高瀨某の所有にして燒坪數二十六坪五合五勺損害總額千百九十五圓なりき

▲人畜異情なし 當夜は風もなく幸ひ人畜に死傷等なかりしが前記類燒者の內深堀休右衛門は家財取出しの際兩手に同人實弟一郎は頭部及び左手に火傷を負ひたるも何れも微傷なれば一週間位にて全治すべしと云ふ

李總理馬車より落

▲強か打ちたる腰の痛さよ 十六日午前十時頃一進會を凹まして得意滿々たる李總理は馬車を命して某所に赴かんとして威容堂々として馬に鞭ち鐘路大通りへ差し蒐りし際馬は何に驚きけん矢庭に躍り上り馭者が取鎮めんとしたるも及ばず荒れに荒れ狂ひに狂ふにぞ李總理は馬車の中に立つたり居たり周章つく拍子に冠は地上に跳ね落され續いて總理も街頭に投げ出され強か腰骨を打撲し泥まみれとなりたる騷ぎに夫れと見たる騎馬巡査さては自轉車走らして警官の驅け付くるありて一時は非常の騷動なりし、一進會の合邦論より馬車の方が余程恐いと云つたか何うか其處迄は記者は與り知り申さず

氷に閉され帆船

▲仁川港の解貨暴騰す 漢江結氷せし爲め遡航中の帆船約六七十隻は途中にて運航不自由となり空しく

來春迄 氷中に在るの外道なきに至りたるが右の爲め仁川に殘れる解船の數は僅かに二十隻を余すに過ぎず

從て解賃は俄に暴騰するに至り從來解賃一噸に付二十八錢より三十錢迄なりしもの昨今は四十錢より五十錢迄となり一般に打擊を被り居れり

都々一に欺された男

▲日曜樓の文無し客 原籍愛知縣豊橋市當時龍山南山下町山村方寄留國井好太郎(三〇)は十一日午後十二時頃隙間隙間の風に刺戟されたか細くなる…ムラ／＼と謀叛氣を起し念へら彼の都々一にもある通り「奥山の庭」子でさへ一匹や雙ぬに今落さで一人寢る」の甘い文句も惡がないてしてある其の證據には「一人寢るのは寢るのぢやないよ枕かついで横になる」とあるに明らかなり男子豫はざる可けんやと枕を蹴つて立ち上り此の旨友人横川某と云ふに談合に及びたるに早速贊成を表

したことが然らば計り龍山は桃山日曜樓に押し上り月曜と云ふを見立て酒よ肴よと發を吐かした揚句六枚屏風の裡にコッテリした御馳走を受けて更の樣に一人寢るのはねるのぢないよの文句を感ずつて寧ろ夜が何時迄も明けずに居て呉れゝばなぞと虫の好い考へを起して居たるも中々さう云ふ譯けには行かぬと見ね無性な朝鮮烏の鳴かぬ間に夜はマンマと明け放れたるにぞ同樓よりは昨夜の勘定十七圓餘を請求せられたるも正に判然一文も所持せざる始末に樓主よりも當人の方が困り果て確かに昨夜は自家に寢た筈だが俺れを此樓へ連れて來たのだなぞと駄々つて見たるも其樣理屈の通らう譯けなく朝鮮なればとて此樣素寒貧に金を貸す程馨喩して居るものもなく矢張り無い金はないと極つたので結局警察の御厄介になりしも或る物好きの人が仲に入り一先願下げとなりたるにぞ好太郎等は安心の胸を撫下げ／＼「都々逸の文句もトント當てにはならぬ矢張り枕をついで寢た方がよかつた」と己れが罪を都々逸になすりつけて泣き面提げて引き退りたりとは振つたものなり、さるにても聞けば日曜樓では毎ゝ倦らした一段になると余程手嚴しいとの事なるに妙なもので文無客の舞込むことは此の樓が一番多いとの評判なり

●強姦男捕はる 仁川花町二丁目韓妓驅黴院鈴木茂吉方に同人妻一人にて留守を守り居たる處へ岩崎富藏と云へる前同家に厄介と爲り居たる者が短刀を振廻して同妻女を手込みにせんとしたる事實は既報の通りにて其後仁川署に於ては行衛を搜索中の處一昨日花町通りを徘徊しつゝあるを難なく取押へて本署に引致取調中なりと

●惡通闘屋の豫審 仁川の惡通闘屋板倉光秀及び土屋茂吉外二名が曩に仁川署に引致せられたる由は其當時詳細報道せしが爾來仁川地方裁判所支部にて豫審中の處前記板倉光秀に對する分は豫審終結決定したる由にて尚ほ右詐欺取財被告事件に對する公判は來春早々仁川地方裁判所にて開廷せらるべしと云ふ

◎溫突から火事 昨日午前零時四十五分仁川桃山裏手支那人鄭遂號方溫突の焚火より發火し同家屋一戸を燒失して二時鎮火したり

◎消防夫の當直 民團にては近來失火の頻々たるに鑑み十六日より消防夫二名を同役所內に當直せしむと

●日韓禪寺の說教 花園町曹洞宗日韓禪寺にては十七日午後一時より例月の觀音講に付き說教及び禪學講話あると云ふ參聽隨意

●圍体の泥棒忍入る 仁川龍洞十戸李承鉉方に一昨日午后二時頃數名の泥棒忍入り家具數品を窃取して行衛を晦ましたる旨昨日仁川署に訴出でたり

●婦人泥棒を捕ふ 仁川新町二丁目伊東金港堂方所有の盥一個を先日窃取して逃亡したる韓人金明胤(三三)と云ふは一昨日同町にて長井うのに發見取押へられ本署に突出したり

◎禁酒會の講演會 京城禁酒會にては十七日午後七時より旭町二丁目名古屋城にて矯風講演會を開き當夜は高尚にして興味ある蓄音機を演聽に供すと

◎新町だより 當時の色廓の消息いかにと茲處新町遊廓の素見客の話を聽くに▲高島屋抱で年增女郎として親指に數ねらるゝよし子(三〇)事黑澤てう君は去る十一月十二日鑑札を受けたばかりのに前借金大枚五百圓を綺麗に返濟して一昨日郷里東京は神田に後足で小砂の少々も蹴つて三等列車中の人となりしとは僞の樣な誠の話に候▲遣れも遂ひ去る十月大桝屋に抱へられたる栃木縣生れの竹田ちか(二二)と云ふ名常子女郎は四百圓の前借金を耳を揃へて樓主の前に突返して勝頭抱主の膽玉を寒むからしめ茅出度兩親の元へ歸るとか何とか言ふて朋輩女郎をうらやまがらせ候やに聞及候▲世間は不景氣々々と言ふけれども茲廓色町ばかりは相變らず誤繁昌して一昨夜の如き嫖客は總計百〇一人遣の散財高五百三十六圓十六錢と計上せられたるは偕にても誤幣幸のことと存ぜられ候▲去る十四日新町遊廓健康診斷所に於て遊君の檢黴を行ひたるに機關部故障の爲め笑子、夏子(皆春樓)丸子(京城樓)消花、吾妻、いろは(第一樓支店)白縫(第一樓)○小紫、春八(濱田樓)才三(大桝屋)玉子(月下樓)○初遊(玉家)の十三名入院患者を出し自宅診斷六名、休業通院五名、就業通院十三名あり受診者總計百九十名中健康者は百五十四名なりし

各地の新聞

▲九州荒しの大賊 佐賀縣武雄の蓬萊町遊廓に去る十日の夜紳士體の男一人登樓し豪遊を爲し居ることを武雄署が聞込み其擧動其他に就て注意し居たるに如何にも怪しき點多ければ必定曲者ならんと早速其場に踏込み取調べしに男は頗る横柄に構へて應せず依て兎も角警察署に連込み嚴しく取調べしに此男は久留米市生れ松本米三郎（二…）と云ふ前科五犯前ら久しく九州一圓を股に掛け荒し廻り警察の目を晦まし居たる大賊にして過般久留米なる木村第十八師團長の邸宅へ忍び入りたることをも白狀し此外余罪あるき見込にて目下取調中なり

▲天滿宮祭日改定 福岡市の目貫約一千戸の氏子を有する橋口町水鏡天滿宮にては明年より左の如く年中行事を改定す 歳旦正月七日禊祭を陽暦一月三日の夕に執行、同月十日惠比須祭を陽暦一月十日に執行、同二六八月廿五日祭を陽暦二六八月廿五日執行、同三月節句祭を廢し陽暦三月十日陸軍紀念日、同五月節句祭を廢し陽暦五月廿七日海軍紀念日、同九月廿五日宮日祭ら陽暦十月十七日神嘗祭日奉幣祭は從前の通り陽暦九月廿五日に執行（其他總て從來舊暦にて行ひ來れる祭典を全廢し毎月一日十五日等の月次小祭を陽暦にて執行する事）

▲豊肥線速成運動 大分縣下の重なる官民數十名鐵道同志會幹事寺崎至氏を十三日大分市春日浦蓬萊館に請待し豊肥線踏査の結局につき其の意見を聽き同線の速成運動を爲せり

▲京都銀行の疑獄 京都銀行前支配人小田米次郎は行金十萬餘圓を費消し目下調査中なるが同銀行にて之を告發せざるは安田家の一族にて常務取締役たる安田善兵衛に關係あるが爲なり左れど場合に依りては其筋より告發すべしと

▲工夫十一名生埋 數日來暴風の爲め十一日午後三時新潟縣西頸城郡不知附近工事中の直富鐵道隧道敷地七十尺の山崩れ爲め路閉鎖され作業中の工夫十二名生死不明となりしより救護の爲隧道を横より堀り始めたり

▲女優米花死去す 東京神田區三崎町三崎座女優の座頭岩井米花事山中はな(五〇)は鉛毒にて十一日午後五時死亡したりし由にて十三日深川淨心寺にて葬儀執行の筈

▲豊竹此太夫逝く 淨瑠璃界の元老豊竹此太夫事北田藤兵衛は本年春頃より心臓病に罹り日本橋區蠣殻町の自宅に於て加療中數日前より病勢俄に革り十三日午前四時享年六十二歳を以て終に永眠するに至れり彼は元大阪豪農の嫡子に生れたるが生來非常の藝道樂なるより竹本住太夫の門に入り竹本富昇と名乘り素人義太夫界の總大將となり盛に天狗會など催せし果て巨萬の財産も之が爲め蕩盡し此上は寧ろ藝界に身を投じ適れの名手と成らんと決心し師の勸むるに任せ四代目豊竹此太夫の名を襲ひしものなりと